

TPP交渉参加阻止に全力

国会は、混迷を続けています。皆さん「何をやつているんだ」との怒りの声が聞こえています。申し訳ありません。

しかし、私も怒っています。それは民主党の混乱の中、野田首相がTPP交渉参加を進めようと画策しているからです。今年に

入り、米国などとの事前協議、大型連休の首相訪米、5月のG8、6月のG20の場で交渉参加を表明するのではないかという危機が何度も訪れました。

野田首相は、国民的議論を経て結論を出すとしています。しかし、そんな手順は一切踏まず、強引にTPP参加を進めようとしているのです。絶対に認められません。

せん。一方で米国は、参加したいのなら牛肉・保険・自動車の「入場料」を払えとしています。参加しないという結論を早く出すべきです。

TPP参加の阻止・撤回は、私の最大の政治課題です。これまでも、国会で野田政権を追及してきました。自民党は3月に、「政府

が聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加に反対だとまとめています。私は農林部会長として原案作りの委員会に参加し、私の考えを随所に盛り込みましたが、私が事務局長を務める議員連盟「TPP参

ところでカナダやメキシコがTPP交渉参加を決定したため、経済界等を中心とした日本の交渉参加を求める声が強まっています。マスコミも「農業がTPP参加を邪魔している」と批判しています。とんでもない誤りです。こうしたいわれなき批判に対抗しなければなりません。

私は今ほど、農林漁業を代表する立場の議員が国会にいることの重要性を痛感する時はありません。日本の食と農のため、農林漁業者やJAが地域で頑張っていることを、国政の中で主張していく決意です。

折しも7月5日に、全国農政連から来年の参院選での推薦をいただきました。全国の声を聞き、政治に反映できるよう、全力で取り組みます。これからも私の政治活動への応援をよろしくお願いします。

# 自民農政の先頭で奮闘



23年度第4次補正予算についての代表討論で  
民主党政権を追及(2月8日・参議院本会議)

## 農林漁業者の声を国政に

加の即時撤回を求める会の先生方の後押しもあり、きちんととした姿勢を打ち出することができます。

# 山田としお 国政報告 第9号

平成24年7月発行



## 自民党の新農政ビジョンを取りまとめ

農林部会長として3月、自民党の新たな農政ビジョンを取りまとめました。民主党政権下で大幅に減らされた予算を復活し、不安定な戸別所得補償制度を見直すほか、農地集積への支援や農業農村整備事業、強い農業づくり交付金の拡充などで、農業者を広く支援します。

民主党の農業政策は、どこを向いているのか方向が定まっていません。米価が下落しても需給対策は行わず、変動払いを支払う。かつて自民党的政策を「小農切捨て」と批判した党が、今は平地で20~30㌶の経営体を主体にすると言っている。大変な混乱です。

現行の米の固定払いは「多面的機能直接支払い」に組み替え、米だけでなく、どの作物を作っても、農地を耕作することを条件に支払います。変動部分は、他の作物と合わせた所得安定策とします。また既に自民党が国会に提出している担い手総合支援新法で、新たな担い手を就農から経営移譲まで一貫して支援します。

このビジョンの実現に、与党として取り組めるよう応援をお願いいたします。

## 現場の声生かし、法案審議

今国会で、鳥獣被害防止特措法と養蜂振興法の改正法がそれぞれ成立しました。どちらも自民党の農林部会で協議し、現場の声をしっかりと聞き、自民党的主導による議員立法で実現したものです。

一方で、政府が提出した農林漁業成長産業化支援機構法(6次化ファンド法)案には問題点が多く、時間をかけて審査しています。融資や補助金ではなく、国と地方の金融機関・企業による出資で、農林漁業と商工業が連携する「6次化」を支援するという発想は悪くはありません。しかし現状の法案では、企業主導となる懸念があり、農林漁業者の囲い込みや下請け化につながりかねない仕組みになっているのです。真に地域の農林漁業者のためになる法律として成立させるには、修正が不可欠です。農林部会でしっかりと検討していきます。

## 被災地の復旧・復興へ継続支援

東日本大震災や原発事故から1年以上が経ちました。私も議員立法に関わった「東日本大震災事業者再生支援機構」が3月に設立し、二重債務問題の支援に向けて動き出しました。しかし、あらためて被災地を訪ね、復旧・復興の遅れを見聞きするたび、政府の無為無策ぶりに怒りが込み上げます。

福島県では、農畜産物の「風評被害」が特に深刻です。除染の実施、安全・安心への理解を広げるとともに、東電から早期に賠償金が支払われるようしなければなりません。

また大きな問題となっているがれき処理のため、自民党で「いのちを守る森の防潮堤」推進議員連盟をつくり、事務局長に就任しました。被災地のがれきと土砂を盛り上げ広葉樹を植えて森をつくり、防潮堤とする取り組みです。

被災地の未来のため、今後も継続的に支援に取り組みます。

## 国のあり方問う政策提言

「新しい日本型資本主義を考える会」による政策提言がまとまりました。この会は、TPPやその根底にある新自由主義への対案を示し、我が国の國のあり方そのものを考え方としている。自民党参議院の若手議員と昨年12月に立ち上げた勉強会です。

政策提言は、今年1月から3ヵ月間、議員だけで毎週議論を重ねてまとめました。私が中心となった農林漁業の活性化への提言のほか、経済、教育、医療、環境、憲法など全15項目にわたります。各議員の問題意識は鮮明で、大変、内容の濃い議論となりました。

さて、これをいつ世に出すかです。政局や派閥的な動きとかられるのを避け、今後の国づくりに反映するためのしかるべきタイミングを探っています。発表をお待ちください。

私へのご意見は、ホームページの「ご意見・ご声援」欄にお寄せください。  
ホームページにて「山田としおメールマガジン」会員受付中!

<http://www.yamada-toshio.jp/>

モバイルサイトは、  
右記QRコードから



山田としお公式ブログ

<http://ameblo.jp/toshio-yamada/>